

2018年度

大学院学生募集要項

修士課程英語教育学専攻

[第1次・第2次] 募集



Kobe City University of Foreign Studies

公立大学法人 神戸市外国語大学

大学院外国語学研究科

目 次

■募集要項

1. 募集人員	1
2. 標準修業年限	1
3. 出願資格	1
4. 事前説明会	2
5. 出願手続	2
6. 入学者の選抜	4
7. 合格発表	4
8. 入学手続	4
9. 入学必要経費	4

■制度の案内

長期履修制度	6
短期履修制度、教育訓練給付制度（専門実践教育訓練）	6、7

■修士課程英語教育学専攻の概要	8
-----------------	---

■添付書類

- ・入学願書
- ・長期・短期履修申請書（希望者のみ）
- ・受験票及び払込受付証明書貼付書
- ・払込取扱票
- ・受験票送付用封筒

個人情報取扱について

本学大学院研究科では、出願書類等に記載されている氏名、性別、生年月日、住所、その他の個人情報、入学者選抜、合格者発表および入学手続き等を行うために利用します。

取得した個人情報は適切に管理し、利用目的以外には使用しません。

2018 年度 修士課程英語教育学専攻学生募集要項

1. 募集人員

専攻課程	コース	募集人員	うち第1次	うち第2次
英語教育学専攻	中・高等学校英語教育	10 名	5 名程度	5 名程度
	児童英語教育			

(注1) 志願者が募集人員に達しない場合でも、選考の結果によっては合格とならない場合があります。

(注2) 第1次募集で募集人員に満たなかった場合、第2次の募集人員を増やすことがあります。

2. 標準修業年限 2年

ただし、長期履修制度(6 ページを参照)を利用した3年または4年の履修も可能。

また、短期履修制度(6 ページを参照)を利用した1年での修了も可能。

***長期履修制度または短期履修制度を希望する者は、事前説明会に必ず出席し、制度を充分把握したうえで出願してください。なお、出席できない場合は、ご相談ください。**

3. 出願資格

次の(1)の要件を満たす者で、中・高等学校英語教育コースにあつては(2)、児童英語教育コースにあつては(3)に該当する者

(1) 次の①～⑩のいずれかの要件を満たす者

- ① 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者
- ② 大学評価・学位授与機構により学士の学位を授与された者
- ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- ⑥ 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2018年3月31日までに授与される見込みの者
- ⑦ 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
- ⑧ 旧制学校等を修了した者(昭和28年文部省告示第5号第1号～第4号)
- ⑨ 防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校など、各省大学校を修了した者(昭和28年文部省告示第5号第5号～第12号)
- ⑩ 神戸市外国語大学(以下「本学」という)大学院研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2018年3月31日までに22歳に達する者

(2) 中・高等学校英語教育コース

次の①～③のすべてに該当する者

① 下記のいずれかを所持すること

中学校教諭普通免許状1種(英語)、2種(英語)、専修免許状(英語)

高等学校教諭普通免許状1種(英語)、専修免許状(英語)

特別免許状(英語)

海外の大学を卒業している者に関しては、以下の2つの要件をみたすものとする。

a) 外国における正式な教員免許を所持する

b) 日本語を母語としない場合は、日本語能力試験N4(旧3級)程度またはそれと同等の日本語能力を有する

② 入学時に、上記の免許状取得後1年以上の英語教育経験を有する現職教員あるいはそれに準ずる者であること

③ 入学後、本学在学中に教育実践ができる場を持っていること

(3) 児童英語教育コース

次の①～③のすべてに該当する者

① 下記のいずれかを所持すること

小学校教諭普通免許状1種、2種、専修免許状

中学校教諭普通免許状1種(英語)、2種(英語)、専修免許状(英語)

高等学校教諭普通免許状1種(英語)、専修免許状(英語)

特別免許状(英語)

海外の大学を卒業している者に関しては、以下の2つの要件をみたすものとする。

a) 外国における正式な教員免許を所持する

b) 日本語を母語としない場合は、日本語能力試験N4(旧3級)程度、またはそれと同等の日本語能力を有する

② 小学校教諭普通免許状1種、2種、専修免許状を所持する者にあつては入学時に、免許状取得後1年以上の教育経験を有する現職教員あるいはそれに準ずる者であること

それ以外の者にあつては入学時に、免許状取得後1年以上の英語教育経験を有する現職教員あるいはそれに準ずる者であること

③ 入学後、本学在学中に教育実践ができる場を持っていること

*** 出願資格について疑問がある場合は、出願前に研究所グループ大学院班に相談してください。**

4. 事前説明会

(1) 日 時 第1回 2017年6月17日(土) 午後4時30分 ~ 午後6時

第2回 2017年12月23日(土) 午後4時30分 ~ 午後6時

(2) 場 所 神戸市外国語大学 共同研究棟1階 4AV 教室

5. 出願手続

志願者は、出願書類等を一括し、角形2号の封筒を用いて、**書留速達**で下記の出願期間内に必着するように郵送してください(封筒の表に「**修士課程英語教育学専攻入試出願書類在中**」と**朱書き**してください)。

(1) 出願期間

第1次募集 2017年6月23日(金) から 6月30日(金) まで **【必着】**

第2次募集 2018年1月9日(火) から 1月16日(火) まで **【必着】**

ただし、期間後に到着した出願書類のうち、締切りの前日以前の発信局日付印のある書留速達郵便の場合は受け付ける。

(2) 出願先

〒651-2187 神戸市西区学園東町9丁目1
神戸市外国語大学 研究所グループ 大学院班

(3) 障がいのある志願者について

障がい※を有する場合、受験上および修学上の配慮を必要とすることがありますので、出願前にあらかじめ本学大学院研究科に申し出て、相談を行ってください。

相談の期間 第1次募集: 2017年6月16日(金)まで 第2次募集: 2017年12月25日(月)まで

※障害者基本法(昭和45年法律第84号)第2条第1号に規定する障害者のことで、身体障害、知的障害、精神障害(発達障害を含む)その他の心身の機能の障害がある者を指します。

(4) 出願書類等

書類等の名称	提出該当者	摘 要
① 入学願書および受験票	全 員	本学所定の用紙に志願者本人が記入し、写真を貼付すること。
② 卒 業 証 明 書	全 員	出身大学の学長または学部長が作成したもの(厳封)。
③ 学 業 成 績 証 明 書	全 員	出身大学の学長または学部長が作成したもの(厳封)。
④ 学士証書または学士を証明できる証明書	外国の大学を卒業した者	学士証書の場合は、原本を提出すること。
⑤ 教 員 免 許 状	全 員	お持ちの全ての教員免許状のコピー(原本は、面接日に持参すること。)または、授与証明書を提出すること。
⑥ 志望理由書および英文の要旨	全 員	現在に至る教育経験をもとに、教師としての自分の能力(教育能力、英語運用能力、言語知識、異文化理解、学習者に対する理解力など)について分析的に記述し、その上で大学院での勉学(何を学びたいか、教師としてどのような資質を向上させたいか、今の教師としての自分は何を必要としているか)について、A4判の用紙に2,000字から3,000字程度で書くこと。また、志望理由書の要旨を英文で A4判の用紙1枚(400語程度)にまとめること。どちらも様式は指定しませんが、用紙の右上に氏名、専攻・コースを記入すること。
⑦ 入 学 選 抜 料	全 員	26,000円 ・郵便局の窓口で、願書受付一週間前から受付期間内に本学所定の郵便振替払込票にて納付してください。 *ATM(現金自動預入払出機)での振込みはしないでください。 ・必ず郵便局の日付印が押された【振替払込受付証明書(お客さま用)】を同封の貼付書に貼り付けて提出してください。 ・入学選抜料が振込まれていない場合や、【振替払込受付証明書(お客さま用)】を貼り付けていない場合、または【同受付証明書】に郵便局の日付印がない場合は、願書は受理しません。
⑧ 受 験 票 返 送 用 封 筒	全 員	本学所定の封筒に返信先を明記し、切手362円分を貼り付けてください。
⑨ 長 期・短 期 履 修 申 請 書	該 当 者 の み	長期履修または短期履修を希望する者は提出してください。

(注1) 出願書類等が不備の場合は受け付けません。

(注2) 出願書類提出後は、いかなる理由があっても提出書類の変更を認めません。

(注3) 出願書類等に虚偽の記載が認められた場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。

(注4) 外国の学校・機関が作成する書類が、英語以外の外国語の場合は、厳封を解いたうえで和文または英文翻訳を添付してください。その際は、出身・所属学校、公的機関、または日本語学校等で翻訳文が正確なものであるという証明を受けてください。

(注5) 本学の卒業生については②・③の書類の提出は必要ありません。

(注6) 既納の入学選抜料は次の事由以外は返還しません。

- a. 入学選抜料を払い込んだが、出願しなかった場合
- b. 出願書類が不備等により受理されなかった場合
- c. 重複して入学選抜料の払い込みをした場合

※上記のaからcに該当する場合は、**必ず出願締切日から1カ月以内**に神戸市外国語大学経営企画グループ財務班に連絡し、返還請求の手続きを行ってください。(TEL078-794-8123)

<返還金は振込手数料を差し引いた金額となりますので予めご了承ください。>

6. 入学者の選抜

(1) 選抜方法

選抜は、出願書類と面接試問(英語の口頭運用能力の評価を含む)の結果を総合して行います。

(2) 面接日

第1次募集 2017年7月30日(日)

第2次募集 2018年2月18日(日)

(※時間については、別途案内いたします。)

(3) 選抜試験会場

神戸市外国語大学 第2研究棟

7. 合格発表

第1次募集 2017年8月3日(木) 午前10時

第2次募集 2018年2月22日(木) 午前10時

本学本部棟前の掲示板、HPへの合格者受験番号の掲示、掲載とともに、受験者全員に可否通知を郵送します。なお、電話等による問い合わせには一切応じません。

8. 入学手続

合格者は、所定の期間内に入学金を納入するとともに所定の書類を提出してください。(郵送可)

(1) 手続日時

第1次募集 2017年8月31日(木) 午後2時~午後4時

第2次募集 2018年3月15日(木) 午前10時~12時および午後1時~3時

(注1) 指定日に入学手続を行わない者は、入学辞退者として取り扱い、これ以降の入学手続は原則として認めません。

(注2) 入学手続完了後は、いかなる理由があっても納入された入学金は返還しません。

(2) 提出書類

詳細は合格通知に同封します。

9. 入学必要経費

(1) 入学金(入学手続に必要な経費)及び授業料

種 別	金 額	備 考
入 学 金	(神戸市民及びその子弟) 297,000円	神戸市民とは、入学の日(4月1日)の1年前から引き続き本市に住所を有する者をいいます。 その子弟とは、本市民の配偶者、または、その2親等内の親族をいいます。
	(上記以外の方) 423,000円	
授 業 料	(年額) 535,800円	年2回分納(4月・10月納付) 267,900円

(注1) 消費税法の改正等により上記の金額は、改定される場合があります。

在学中に授業料の改定を行ったときは、改定時から新授業料を適用します。

(注2)長期履修生の授業料については、「長期履修制度」(次ページ)を参照してください。

(注3)短期履修生の授業料については、「短期履修制度」(次ページ)を参照してください。

(2) 入学金以外で入学時に納付をお願いしている経費

種 別	金 額	備 考
神戸市外国語大学 同窓会(楠ヶ丘会)会費	25,000円	(入会金として) 25,000円
神戸市外国語大学 伸 興 会 会 費	2年分 40,000円	(入会金として) 20,000円 (会費として) 20,000円
学生教育研究災害 傷 害 保 険 料		(保険料として) 1,750円

(注1)同窓会(楠ヶ丘会)会費(25,000円)・伸興会入会金(20,000円)は、本学卒業生で在学時に入会されていた場合は不要です。

(制度のご案内)

☆ 長期履修制度

1. 制度の概要

本学大学院外国語学研究科英語教育学専攻は、主に小学校、中学校および高等学校の現職教員を対象にした修士課程です。

本専攻の授業は、金曜日の夜間、土曜日および夏季休業中2週間集中と冬季休業中に行われます。

本専攻の標準修業年限は2年ですが、申し出により3年または4年の期間をかけて計画的に履修し、学位や資格を取得する「長期履修制度」を利用することができます。その場合、授業料は総額(2年分)を3年間または4年間で分割して納入することになります。

2. 対象者

英語教育学専攻への出願者

3. 期間

長期履修期間は、3年または4年(出願時にどちらかを選択)

4. 授業料(年額)

(1) 3年計画の場合 大学が定めた授業料年額×標準修業年限(2年)÷長期履修期間(3年)

(2) 4年計画の場合 大学が定めた授業料年額×標準修業年限(2年)÷長期履修期間(4年)

従って、通常の2年分の授業料を3年または4年で分割し、納入することになります。

5. 申請時期

出願時に「長期履修申請書」を添えて提出。

6. 長期履修の許可通知

申請者に対して入学試験の合格発表と同時に郵送にて通知します。

7. 履修計画の変更

(1) 履修計画の短縮変更は、各年次の指定する期日までに届出をし、変更計画が認められた場合は、翌年度から変更が可能です。

(2) 履修計画の延長変更は、1年次の指定する期日までに届出をし、変更計画が認められた場合は、翌年度から変更が可能です。

☆ 短期履修制度

1. 制度の概要

本学大学院外国語学研究科英語教育学専攻は、主に小学校、中学校および高等学校の現職教員を対象にした修士課程です。

本専攻の授業は、金曜日の夜間、土曜日および夏季休業中2週間集中と冬季休業中に行われます。

本専攻の標準修業年限は2年ですが、入学時に既に優れた業績を上げていると認められた場合、1年で所定の単位を取得し、修了する「短期履修制度」を利用することができます。

ここでいう「優れた業績を上げた者」とは、次の(1)から(4)のいずれかに該当する場合です。

(1) 修士の学位を既に保持し、かつ英語教育の分野における研究の成果が優れていること。

(2) 英語教育の分野で修士の学位に相当する論文等の業績を持ち、かつ現在の研究の成果が優れていること。

(3) 入学時に既に英語教育の分野で大学院レベルの単位を相当数取得し、かつ現在の研究の成果が優れていること。

(4) 上記(3)と同等以上の特に優れた研究成果を持つと認められること。

2. 対象者

英語教育学専攻への出願者

3. 添付する業績について

これまでに発表した主要な研究論文・研究報告書等(コピー可)を各1部申請書に添付すること。

4. 授業料

1年分

5. 申請時期

出願時に「短期履修申請書」および研究等の業績を添えて提出。

6. 短期履修の許可通知

申請者に対して入学試験の合格発表と同時に郵送にて通知します。

☆ 教育訓練給付制度（専門実践教育訓練）

2017年4月より本専攻は厚生労働省の教育訓練給付制度(専門実践教育訓練)の指定講座となっています。

対象者は、一定の条件を満たす雇用保険の被保険者(在職者)で、2年で課程を修了した場合に、本人の申請により教育訓練経費(入学金及び2年分の授業料)の一部が給付されます。

対象要件や給付に関する詳細は、「ハローワークインターネットサービス(雇用保険の手続きのご案内-教育訓練給付)」にてご確認ください。

https://www.hellowork.go.jp/insurance/insurance_education.html

【注】履修開始日の1ヶ月前(2月中)までにお住まいの管轄のハローワークにてカウンセリング等を受けていただく必要があります。

2次募集で受験を希望し、かつこの制度の申請を希望される場合は、合否判定を待たずに先行して申請してください(合否に関わらず申請は可能です)。

修士課程英語教育学専攻の概要

名 称 神戸市外国語大学大学院 外国語学研究科英語教育学専攻

位 置 神戸市西区学園東町9丁目1 神戸市外国語大学内

沿 革 2004年4月1日設置

2006～2008年度 文部科学省「特色ある大学教育支援プログラム(特色GP)」採択

2015年12月 文部科学省「職業実践力育成プログラム」(非正規労働者のキャリアアップ)認定

2017年4月 厚生労働省「教育訓練給付(専門実践教育訓練給付)」対象講座指定

修業年限 2年

学 位 修士(英語教育学)

理念と目的

世界の急速なグローバル化の進展や、インターネットをはじめ情報通信技術の発達にともない、日本社会においても英語の果たす役割はますます大きくなり、21世紀を生き抜く子供たちにとって実質的な国際共通語である英語の運用能力がコミュニケーションのためのツールとして不可欠なものとなりつつあります。このような状況の中、従来の研究者養成を主体とした英語教員養成課程の教育内容では十分に対応できない面が目立つようになってきています。神戸市外国語大学大学院外国語学研究科英語教育学専攻は、このような英語教育を取り巻く大きな変化の中で、すでに現任教員として教育実践経験をもつ者が、日頃の教育現場で必要とされる高度な英語運用能力や職業人としての専門的な知識を向上させることは勿論、日々の教育実践を通して、英語教師としての技術の向上、生徒理解の促進などを含め、教育者としての自己改革を目指した大学院修士課程です。そこでは大学教員と小・中・高校教員が理論と実践を学び合い情報を共有することを基本的姿勢としています。

単位修得方法

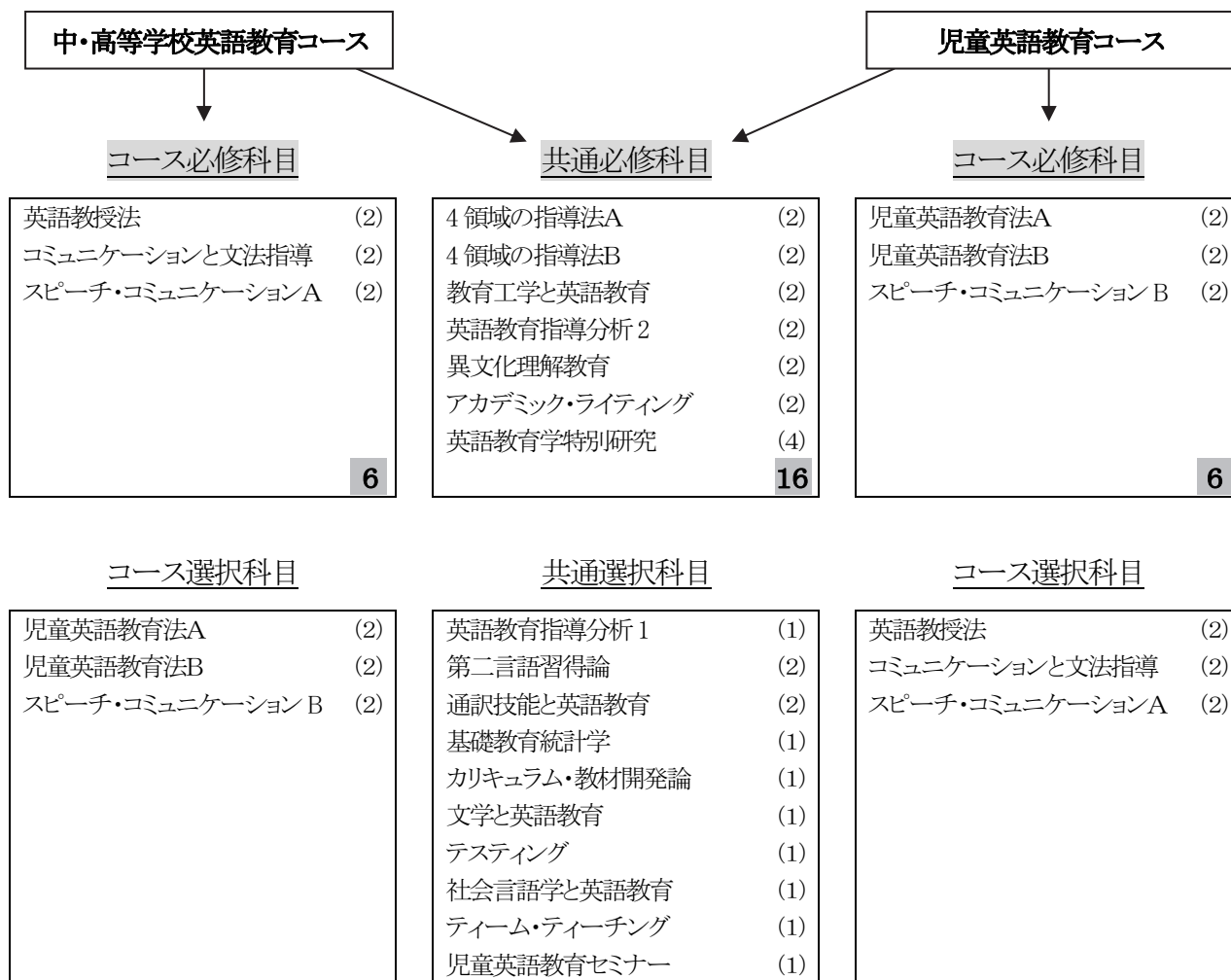
本専攻を修了するには、原則として2年以上在学し、その所属するコースの授業科目(別表参照)について、定められている履修規則と指導教員の指導に従い、合計30単位以上を取得し、在学中に修士論文(あるいは特定の課題についての研究の成果である「課題研究」)の審査及び最終試験に合格する必要があります。ただし、優れた業績を上げたと認められるものについては一年以上の在学でよいものとします。

英語教育学専攻授業科目

授業科目は中・高等学校英語教育コースと児童英語教育コースに分かれています。

1. 中・高等学校英語教育コースの学生は中・高等学校英語教育コース必修科目から6単位と共通必修科目から16単位の合計22単位を必修し、かつ、中・高等学校英語教育コース選択科目及び共通選択科目から8単位以上を選択して、合計30単位以上の履修が必要です。
2. 児童英語教育コースの学生は、児童英語教育コース必修科目から6単位と共通必修科目から16単位の合計22単位を必修し、かつ、児童英語教育コース選択科目及び共通選択科目から8単位以上を選択して、合計30単位以上の履修が必要です。

大学院のカリキュラムの全体図



時間割 [例]

春学期 (4～7月の15週間)		夏学期 (7・8月)	秋学期 (10～1月の15週間)		冬学期 (2・3月)
金曜日	土曜日	集中	金曜日	土曜日	集中(土曜日)
18:00 - 19:30 19:40 - 21:10	10:50 - 12:20 13:10 - 14:40 14:50 - 16:20 16:30 - 18:00	9:00 - 12:00 12:50 - 15:50 16:00 - 17:30	18:00 - 19:30 19:40 - 21:10	10:50 - 12:20 13:10 - 14:40 14:50 - 16:20 16:30 - 18:00	9:30 - 11:00 11:10 - 12:40 13:30 - 15:00 15:10 - 16:40
4領域の指導法B 児童英語教育法B カリキュラム・教材開発論 社会言語学と英語教育	教育学と英語教育 スピーチ・コミュニケーションA 児童英語教育法A 通訳技能と英語教育 英語教育指導分析1	異文化理解教育 テストング 4領域の指導法A 児童英語教育セミナー 第二言語習得論 ティーム・ティーチング 文学と英語教育	英語教授法 アカデミック・ライティング	スピーチ・コミュニケーションB 英語教育指導分析2 コミュニケーションと文法指導	基礎教育統計学
英語教育学特別研究					

※実際の授業科目の配置は年度により異なりますので、新学期に時間割をご確認ください。

課程の流れと標準的な履修モデル

(共通)

	春学期 (4～7月)	夏学期 (7・8月)	秋学期 (10～1月)	冬学期 (2・3月)
1 年 目	オリエンテーション 履修指導	修士論文(課題研究)ガイダンス	修士論文執筆予定題目届提出	指導教員の決定 修士論文研究(課題研究)計画案 提出
2 年 目	修士論文(課題研究)開始	修士論文(課題研究)中間発表 (9月下旬)	修士論文(課題研究)提出 (1月10日) 修士論文(課題研究)審査依頼	修士論文最終試験(1月下旬) 修了判定(2月下旬) 修了(3月下旬)

(中・高等学校英語教育コース2年修了の場合)

	春学期 (4～7月)		夏学期 (7・8月)		秋学期 (10～1月)		冬学期 (2・3月)	
履修科目(1年目)	4領域の指導法B 教育工学と英語教育 児童英語教育法A 通訳技能と英語教育	2 2 2 2	テストイング 児童英語教育セミナー 4領域の指導法A 異文化理解教育	1 1 2 2	コミュニケーションと文法指導 アカデミック・ライティング 英語教授法	2 2 2	基礎教育統計学	1
合計(累計)		8 (8)		6 (14)		6 (20)		1 (21)
履修科目(2年目)	英語教育学特別研究							4
	スピーチ・コミュニケーションA 英語教育指導分析1	2 1	第二言語習得論	2	英語教育指導分析2	2		
合計(累計)		3 (24)		2 (26)		2 (28)		4 (32)

(児童英語教育コース2年修了の場合)

	春学期 (4～7月)		夏学期 (7・8月)		秋学期 (10～1月)		冬学期 (2・3月)	
履修科目(1年目)	児童英語教育法A 4領域の指導法B 教育工学と英語教育 カリキュラム・教材開発論 通訳技能と英語教育	2 2 2 1 2	テストイング 児童英語教育セミナー 4領域の指導法A 異文化理解教育	1 1 2 2	コミュニケーションと文法指導 アカデミック・ライティング 英語教授法	2 2 2	基礎教育統計学	1
合計(累計)		9 (9)		6 (15)		6 (21)		1 (22)
履修科目(2年目)	英語教育学特別研究							4
	児童英語教育法B 英語教育指導分析1	2 1	第二言語習得論	2	英語教育指導分析2 スピーチ・コミュニケーションB	2 2		
合計(累計)		3 (25)		2 (27)		4 (31)		4 (35)

別表

授業科目名	単位	備考
A 群		<p>中・高等学校英語教育コースを専攻する学生については、A 群の16単位及び B 群の6単位を合わせた22単位を必修し、かつ C 群及び D 群から8単位以上を選択し、合計30単位以上履修すること。</p> <p>児童英語教育コースを専攻する学生については、A 群の16単位及び C 群の6単位を合わせた22単位を必修し、かつ B 群及び D 群から8単位以上を選択し、合計30単位以上履修すること。</p>
4領域の指導法A	2	
4領域の指導法B	2	
教育工学と英語教育	2	
英語教育指導分析2	2	
異文化理解教育	2	
アカデミック・ライティング	2	
英語教育学特別研究1	2	
英語教育学特別研究2	2	
B 群		
英語教授法	2	
コミュニケーションと文法指導	2	
スピーチ・コミュニケーションA	2	
C 群		
児童英語教育法A	2	
児童英語教育法B	2	
スピーチ・コミュニケーションB	2	
D 群		
英語教育指導分析1	1	
通訳技能と英語教育	2	
第二言語習得論	2	
基礎教育統計学	1	
カリキュラム・教材開発論	1	
文学と英語教育	1	
社会言語学と英語教育	1	
ティーム・ティーチング	1	
児童英語教育セミナー	1	
テストイング	1	

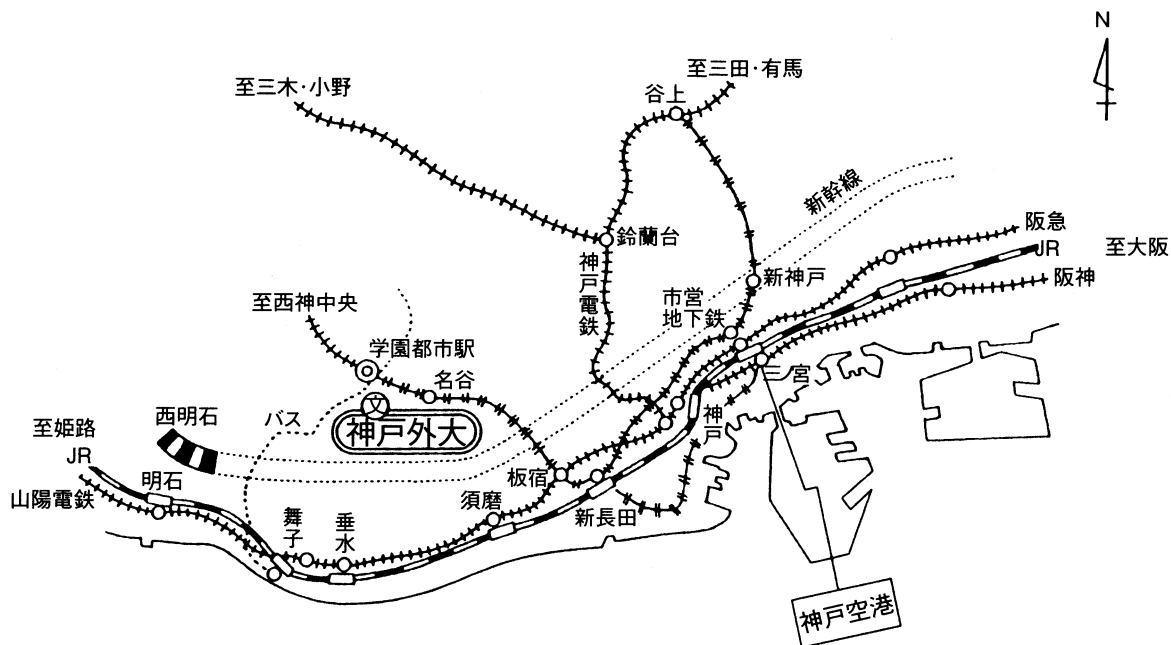
For those who would like to apply for the Graduate School of English Language Education and Research (GSELER), Kobe City University of Foreign Studies (KCUFS) for the academic year 2018.

1. Course : GSELER has two courses, one is for the English teachers of both Senior High Schools and Junior High Schools, and the other is for the English teachers of Elementary schools.
2. Duration of course : From two to four years.
3. Qualifications for non-Japanese applicants whose native languages are not Japanese:
 - a) Those who hold an official teacher's license.
 - b) Those who have N4 or higher of the Japanese Language Proficiency Test.
 - c) Those who have at least one year of experience teaching English after gaining a teacher's license.
 - d) Those who are or will be English teachers in Japan from the April of admission. Assistant Language Teachers (ALTs) hired through the JET program can be regarded as English teachers.
 - e) Those who can commute to GSELER while working as English teachers in Japan.
 - f) Those who have finished 16 years of education in foreign countries and have graduated from any university in a foreign country.
 - g) Those who will be 22 years of age or older at the end of the March prior to admission.
4. Course guidance for the applicants will be held on June 17, 2017 and December 23, 2017 at KCUFS.
5. Application forms should be submitted between June 23 and June 30, 2017 or between January 9 and January 16, 2018, accompanied by the 26,000 yen application fee.
6. The entrance exams are scheduled for July 30, 2017 and February 18, 2018 at KCUFS.
7. The result of the entrance exams will be posted at the university and on the university homepage as well as sent by postal service to the applicant.
8. The entrance fee is 423,000 yen (for those who have had an address in Kobe for more than one year, it is 297,000 yen)
9. The total tuition of 1,071,600 yen is pro-rated according to the length of the program chosen.
Those who choose the 2-year program pay 535,800 yen per year.
Those who choose the 3-year program pay 357,200 yen per year.
Those who choose the 4-year program pay 267,900 yen per year.

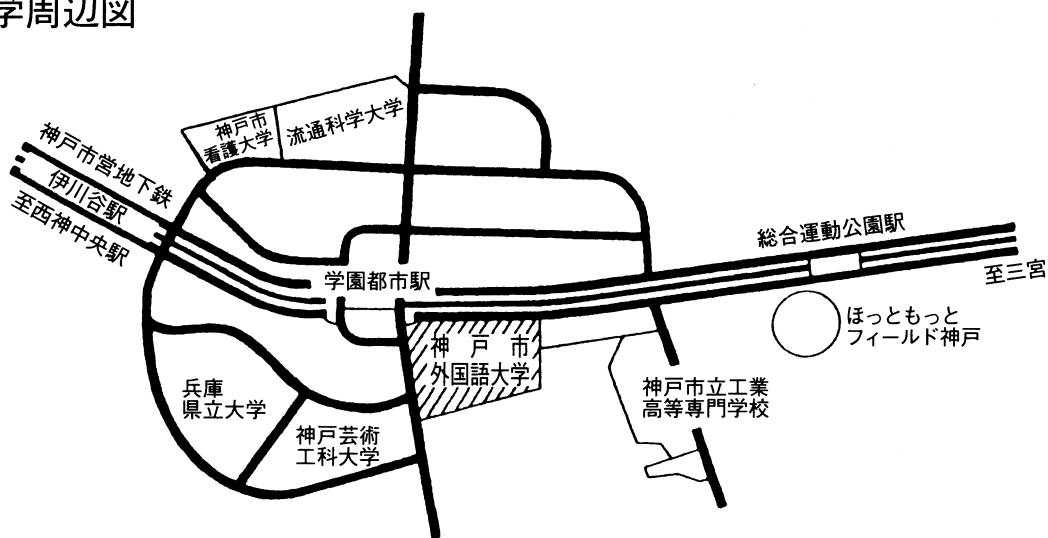
For further information about the curriculum or faculty members, please visit
http://www.kobe-cufs.ac.jp/graduate/master/english_edu.html
or contact grad_kcufs@office.kobe-cufs.ac.jp

Research Institute of Foreign Studies,
Kobe City University of Foreign Studies
9-1, Gakuen-higashi-machi, Nishi-ku,
Kobe 651-2187 JAPAN

試験場案内図



◎大学周辺図



- 新幹線新神戸駅から市営地下鉄で約30分
- 「神戸空港」から「三ノ宮」までポートライナーで約18分
- 三ノ宮駅から市営地下鉄で約25分
- 舞子駅から（市バス）53、54系統で約25分
- 垂水駅から（市バス）48、171系統で約30分

学園都市駅下車
徒歩約3分



【問合せ先】

〒651-2187 神戸市西区学園東町9-1

神戸市外国語大学 研究所グループ 大学院班

TEL: 078-794-8238 FAX: 078-794-8160 e-mail: grad_kcufs@office.kobe-cufs.ac.jp

ホームページ: <http://www.kobe-cufs.ac.jp>

※シラバスは「本学ホームページ → シラバス検索」を参照してください。